

「恋人の聖地」へ来て

有磯海SA 記念の鐘を除幕

4月に「恋人の聖地」の認定を受けた魚津市湯上の北陸自動車道下り線「有磯海サービスエリア(SA)」で19日、認定を記念したモニュメントの鐘の除幕式が行われた。関係者が見守る中、招待を受けたカップルが鐘を鳴らし、本格オープンを祝った。

「恋人の聖地」は少子化対策と地域活性化を目的に始ま

った全国プロジェクトで、同SAは富山湾を見渡せる景勝地として申請。認定プレートが届いた6月以降、展望台周辺を整備し、ハート型の錠に愛を誓うメッセージを添える「ハートロック」を導入するなどした。

記念モニュメントの鐘は高岡銅器製で、鳴らしたカップルや家族に幸せが訪れるようお願いを込めた。本格オープンに合わせ一般道から同SAを利用できる駐車場・ぷらっとパーク(13台)も整備した。

関係者が見守る中、記念モニュメントの鐘を鳴らすカップル



同日は高城一俊中日本高速道路金沢支社長のあいさつ、沢崎魚津市長の祝辞に続き、大崎利明魚津商工会議所会頭らが加わって除幕した。ホテルニューオータニ高岡で来春挙式する高岡市の新保将士

さん(31)と長谷田都さん(29)がカップル第1号として鐘を鳴らした。2人は「責任重大。幸せにならないければ」と笑顔で話した。

来年1月20日まで「恋人の

聖地」にふさわしい記念モニュメントの名称を募集する。問い合わせは中日本高速道路富山保全・サービスセンター名称募集係、電話076(421)9048。